

令和4年度花巻市大迫地域協議会（第1回）会議録

1 会議の日時及び場所

- (1) 日 時 令和4年4月28日（木）午前10時00分～午前10時45分
 (2) 場 所 大迫総合支所 2階 大会議室

2 出席委員（出席9名、欠席4名、欠員2名）

区分	団体及び役職名	氏名	住所	出欠
（1） 公共的 団体 から 推薦 された 者	花巻農業協同組合 女性部大迫支部長	菊 月 美智子	亀ヶ森	○
	花巻市森林組合 大迫事業センター所長	高 橋 純 一	外川目	○
	花巻商工会議所 大迫支部副会長	佐々木 行 雄	外川目	欠席
	花巻市社会福祉協議会 大迫支部長	川 村 均	大 迫	欠席
	花巻市大迫地域区長会 会長	金 卓 朗	大 迫	欠員
	大迫地区コミュニティ振興会 会長	菊 池 忠 久	大 迫	○
	内川目コミュニティ会議 会長	伊 藤 誠	内川目	○
	外川目地区コミュニティ会議 会長	佐々木 政 行	外川目	欠席
（2）学識経験を有する者	亀ヶ森地区コミュニティ会議 会長	藤 田 哲 司	亀ヶ森	○
		瀬 川 行 夫	大 迫	○
		佐々木 和 宏	大 迫	○
		小 川 富 士	大 迫	○
		川 村 優 子	大 迫	欠員
		瀬 川 和 広	大 迫	○
（3）公募による者		高 橋 千 明	大 迫	欠席
		応募なし	—	—

花巻市 所属	役職名	氏名	出欠
総合政策部	部長	岩 間 裕 子	欠席
秘書政策課	総合計画策定室長	富 澤 秀 和	○
秘書政策課	総合計画策定室次長	村 田 豊 隆	○
秘書政策課	総合計画策定室主査	川 村 芽 衣	○
大迫総合支所	支所長	中 村 陽 一	欠席
地域振興課	地域振興課長	高 橋 哲 也	○
市民サービス課	市民サービス課長	黒 沼 寿 夫	○
地域支援室	地域支援監	藤 原 克 典	欠席
地域振興課	課長補佐（地域づくり担当）	伊 藤 葉 子	○
地域振興課	課長補佐（産業・建設担当）	吉 田 幸 弘	○
市民サービス課	課長補佐	佐々木 明 子	○
地域振興課	地域づくり係長	伊 藤 玲	○

・傍聴者 1名

3 議 題 (説明事項)

- (1) 次期花巻市総合計画策定の基本方針 (案) について
- (2) その他

4 議事の概要

- (1) 開 会 (地域振興課長)
- (2) あいさつ (大迫地域協議会長)
- (3) 説明及び審議 議長：瀬川行夫会長
 - ①次期花巻市総合計画策定の基本方針 (案) について
総合政策部秘書政策課総合計画策定室長より諮問書の提出
(説明：秘書政策課総合政策策定室長 他)
 - ②その他
なし

主な質疑の内容は、次のとおり。

(瀬川行夫会長)

説明ありがとうございました。最後のページですが基本方針の決定が4月というふうになっておりますが、もう4月も終わりになってまだ大迫地域協議会がトップの協議会開催のようですので、5月にずれ込む、やや遅れているという状況なそうですので、ご理解いただきたいと思います。

それではただいま説明いただきました方針案につきまして質疑をお願いしたいと思います。

質問意見等ありましたら挙手でお願いします。

(菊池忠久委員)

新たな基本計画の策定ということで大変な労力を要すると思いますが、よろしく願います。まず私の方から2つの質問と1つは意見の3点、述べたいと思います。

1つは3ページ長期ビジョンの全体構成ということで6つの分野の柱を設定しております。確か現計画ですとこれが5本の柱だったと思います。今段階で説明にありませんでしたので、3番目の健康・いのちという部分を新たに柱として設けた部分をご説明いただきたい。

もう1点は2ページの2の(5)ですね。計画を作る段階では一般の方を交えたワークショップをやるわけですが、(5)の重点施策プロジェクトとして位置づけるとなっております。重点施策を計画する段階で職員だけでやるのかそれとも一般も交えた形でプロジェクトを位置付けていくのかという部分が2つ目の質問です。

3つめは意見ですが、4ページの6のアクションプランの全体構成。ここで4番目に指標がありますね。わかりやすい計画ということでうたっていますが、現計画におきましては、指標を立てるのが難しいと思います。具体的な入場者や設置数がわかるのであれば指標を立ててその目標に向かうとなります。継続して市民のアンケートだと思えますが、項目が前回と同じような形でやるのか、今回まるっきり新しい部分もあるかと思えますが、私が気になったのは、私はコミュニティもやっていますので、コミュニティ会議の基礎強化と前回の指標の取り方ですね、「地域の総課題件数のうち地域で課題解決した件数の割合」ということをコミュニティの成果指標でうたっている。指標として年度ごとに各コミュニティが課題解決した数字を何パーセントと出されても、年度ごとの成

果指標として出されても課題解決を増やしていくのかなと捉える。現実的にコミュニティの課題というのは年度ごとに違うわけですし、当然重点度も違うわけですね。大きな課題であればそれは解決すれば成果が多いはずですが、件数じゃないと思うのですが、そういう形でどうしようということではなく、指標を捉えた時、年度ごとに指標が入場者数を増やすという形で、右上がり頑張ってくなとわかりますね。現実的には人口減って右下がりであればこれを同じ数字の指標を持っていくとこれも頑張っているなと思います。今回のコミュニティの部分の指標の場合は、これは件数を増やす中身の捉え方で指標とするとちょっと問題があるかなという事を考えてます。あくまでも意見です。ですからこういった形で指標を今回新しくする段階で解りやすい指標といった部分を捉えていただければいいかなと思います。これ意見です。以上です。

(瀬川行夫会長)

質問が2点それから意見が1点ということでした。まず質問の部分につきましては3ページ。この方針では6つの柱ということになってますが、現在進んでいるのは5つの柱。確か暮らしと健康・いのちの部分が1つになっていたのを2つに分離したと。そして6つにしたということですが、その理由についてこういう状況なので2つに分けて考えるのだという事が説明いただけるとありがたい。

それと2ページの方では(5)一般の方も入れていくのかどうかというこの2点について回答をお願いします。

(村田豊隆総合計画策定室次長)

総合計画策定室の村田です。よろしく申し上げます。まずは1点目の質問ですけれども、資料3ページの今回新しく策定する長期ビジョンの構成として、6つの分野の柱でございます。ご指摘いただきましたとおり「健康・いのち」という部分が新しく設定をするということで、今まではご案内のとおり5つの柱ということで、この資料3ページで申し上げますと、Ⅱの「暮らし」とⅢの「健康・いのち」、これを一体として現計画では「暮らし」という柱で計画を策定したところであります。この「暮らし」分野につきましてはここで取り扱う範囲がかなり広い分野ということもございまして、実際にここで展開する事業も多い事業数ということもございまして、この部分を分けることによってそれぞれ充実させて取り組むことができるということで、ここを改めて「暮らし」という部分と「健康・いのち」という2つの分野に独立させたというような格好で今回策定をしていきたいと考えているところでございます。

それから2点目、重点施策プロジェクトに盛り込む際の考え方ということでございまして、やはりこの計画策定にあたっては、先ほどもご説明申し上げましたとおり市民参画というところを基本に据えながら意見を反映できるような格好にしていきたいと考えてございます。その中でワークショップの開催ですとか市民アンケートそれから来年度になるかと思いますが、パブリックコメントですとか各種の説明会、あとは関係団体の意見とかいただくことが多々あります。その中でいただく意見の中で重要と思われる部分につきましてはやはりこの計画の中にも盛り込んでいく必要があるだろうと捉えておりますので、そういった今回行っていく市民参画の中でいただいたご意見を参考にさせていただいて、その中で必要と思われる項目につきまして重点施策プロジェクトという中に反映することを想定して進めていきたいと考えているところでございます。

(富澤秀和総合計画策定室長)

今、村田次長がお答えしたとおりでございますけれども、3点目の指標についてご意

見ということですがけれども、指標設定については、コミュニティの地域課題の解決の件数などとしておりますのは現計画の中期プランのことであると思います。次期総合計画に当てはめると具体的な成果指標はアクションプランの中で設定していくとなりますけれども、実際に取り組むべき政策、施策を洗い出した上でまたどういった指標を設定するのかというのを今のご意見を参考にしながら設定したいと考えております。

(菊池忠久委員)

全体構想の6つの柱の部分でね。今の説明。暮らしの部分で2つの項目に分けたという説明でしたけれども、私個人的に考えると、今回コロナの部分でいのちっていう部分が行政的にも対応なりが出てきたからその部分で改めて重点的に上げたのかなと思った。計画するのは今後でしょうから当然新たな計画の中ではそういう部分が入ってくる。

(富澤秀和総合計画策定室長)

菊池委員がおっしゃるとおりでございます、その観点が非常に大きい部分でございます。もう一つ、実務的な話をさせていただきますと、現在も現計画のもとで中期プランに位置付けた指標を基にした行政評価を実施して次の施策に活かすということで進めて参っておりますが、部門別で施策を評価していただく際に暮らし部分の施策の数が多いという事もございまして、このことも一つの理由として5つの柱から6つの柱となったという考え方でございます。

(瀬川行夫会長)

そのほか質問意見ございませんか。

(小川富士委員)

小川でございます。どうぞよろしく申し上げます。

様々一生懸命計画を立ててらっしゃるのは敬意を表しております。わたしの理解不足のところがありますので、ご説明いただけたらと思います。

長期ビジョン8年間、前期後期4年間ずつ。しかし市長任期と上に掲載してあります。たとえば万が一、市長が交代した場合において、前倒しとか、計画の見直しとかあった場合は計画的に相当遅れとか生じる懸念があるかなと理解してよろしいでしょうか？

(富澤秀和総合計画策定室長)

お答えします。市長選挙によって遅れるのかと言われますと、そういったことは無いと考えてございます。と申し上げますのは、今年の1月末に市長選挙がありました。任期は4年です。そこを起点にして進む計画を策定しようとしたならば、策定期間は必要になるので、その分は策定期間分遅れることとなりますけれども、今回の場合は市長任期を考慮したうえでの計画期間としておりまして、例えば市長が代った場合でもその計画の期間としては当然活きている訳でございます、取り組んでいる政策、施策は変わりなく市民の皆様には迷惑をかけることなく進んでいくということでございます。ただ、これまで取り組んできた政策、施策をやらないとか、全く新たなことをやるとか、という方針を打ち出されますと計画を策定する期間というのは必要になります。わかりづらい説明になりましたけれども、市長選挙によって計画が遅れるかと言われますとそのような事は無いということでございます。

(小川富士委員)

遅れはない。しかし、もしかして停滞はあり得るかもしれない。と、わたくしは理解しますけど。若干の。

(瀬川行夫会長)

まずは、大幅な施策の変更という市長方針が打ち出されればということで、そこでの計画見直しという事があれば遅れはあるだろうと回答でした。

(小川富士委員)

それからもう1点です。4ページの下の方に専門家。富士大学などと明記してあります。「など」とはどちらを指していますか。

(富澤秀和総合計画策定室長)

「など」について、でございます。地元には富士大学があるわけでございますけれども、行政の委員会は様々ありまして、県立大学とか岩手大学にも一部お願いしながら行っている事もございます。場合によってはそちらの方にも何か調査ですとか専門的なことを聞くとかそういったこともあろうかと思って「など」という表現にしております。

(小川富士委員)

やはり県立大学とかですと専門学部がございます。参考にすることが大ではないかと思われますので、専門家だけではなくて学んでいる学生方の新鮮な目とか気持ちとかはちょっとご参考になさってはいかがかなと思ってご提案させていただきました。

(瀬川行夫会長)

専門家だけではなく学んでいる方の意見もということでした。課長。

(富澤秀和総合計画策定室長)

はい、ありがとうございます。できれば若者のワークショップに参画していただけるように市内の高校生にも働きかけはしていきますけれども、同様に岩手県内の大学にも何かしらの声を掛けて参りたい。そして若者の意見。専門家だけではなくそういった意見を取り入れて参りたいと考えております。

(瀬川行夫会長)

それでは協議を終わってよろしいでしょうか。意見もあつたわけですが、この方向性について修正意見という形は無かったものと感じております。諮問いただいた方針案についてこの協議会では了として答申したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは方針案についての協議を終了いたします。

(瀬川行夫会長)

次に②その他であります。それでは、委員の皆様から何かございますか。

(「なし」の声あり)

(瀬川行夫会長)

以上で、本日の協議を終了します。

(4) 閉 会 (地域振興課長)